



令和7年3月31日

広島大学 A-ESG 科学技術研究センターが大崎上島町と カーボンニュートラルを推進するための連携協定を締結しました

情報提供

【概要】

国立大学法人広島大学 A-ESG 科学技術研究センター（センター長：市川貴之）（以下、A-ESG センター）は、大崎上島町（町長：谷川正芳）と 2025 年 3 月 10 日付けで連携協定を締結し、大崎上島町において、カーボンニュートラルを実現するための研究・実証を相互に協力して実行することに合意致しました。

これらの取り組みによって、より一層先端的な科学技術を提供できるよう学術研究を推進し地域の活性化を進めると共に、教育面では人材育成に注力していくことを目指します。

【締結時の様子】



（左から、大崎上島町 谷川町長、A-ESG センター 市川センター長）

【詳細】

- ・ 契約題目 : 連携協定
- ・ 期間 : 令和7年3月10日～令和8年3月31日
- ・ 連携協力内容 : NEDO 人材育成事業カーボンリサイクル特別講座における町内の教育機関との連携やカーボンリサイクル研究施設の活用など、カーボンニュートラル、脱炭素社会の推進事業に関すること 他

【背景】

近年、脱炭素化※①やカーボンニュートラル※②など持続可能な社会を実現するために、企業のみならず自治体においても積極的に取り組みを推進しています。2025年2月18日には第7次エネルギー基本計画が閣議決定され、近い将来の温室効果ガス削減目標値がより一層明確化されるなど、カーボンニュートラルや脱炭素社会の実現に向けた動きが加速することが予想されます。

A-ESG センターは、カーボンニュートラルを支える技術や環境にやさしい製造プロセス等、先端的な科学技術を社会に対して提供することを目指しています。上記の現状を踏まえ、今後は基礎研究・応用研究に加えて、実証研究あるいは実装をより意識したかたちで運営を進めていく必要があると考えています。

加えて、脱炭素という新しい社会課題、且つ化学やエネルギーなど幅広い分野の知識や経験が必要といった理由で、人材育成の重要性も増してきています。昨年、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構が主催する事業「NEDO プロジェクトを核とした、人材育成、産学連携等の総合的展開／カーボンリサイクルに係る特別講座」に当センターが唯一採択され、大崎上島カーボンリサイクル実証研究拠点と共同で、カーボンリサイクルの実用化を担う人材育成講座やワークショップ等を実施しています。

一方、大崎上島町においても、カーボンリサイクル事業や町内における環境教育などを通じて、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」に挑戦することを2021年3月25日に宣言し、積極的に温室効果ガス削減を推進しています。

【ねらい】

カーボンニュートラル関連の中心的研究拠点があり、かつ積極的に脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいる大崎上島町と、研究の実証・実装をより一層推進していきたいA-ESGセンターの思いが合致し、連携協定というかたちに至りました。

カーボンニュートラル、脱炭素化に関する大崎上島町の取り組みの現状把握をしながら、広島大学の技術的知見を提案する連携協力推進協議会を設置する予定です。

【今後の展開】

連携協力推進協議会において、大崎上島町内の現状のエネルギー消費量、二酸化炭素排出量など様々なデータを整理し、分析、課題の把握を行います。その後、対応策の段階で広島大学の学術的・技術的知見を提供し、計画・研究・実証を行っていく予定です。その際には、大崎上島町内の企業様のご協力を得ながら、産学官の連携で進めていくことにより、大崎上島町のゼロカーボンシティ目標の貢献を目指します。

【注釈説明】

- ① 脱炭素化・・・温室効果ガスの排出を抑止し、排出量を実質ゼロにすること。
- ② カーボンニュートラル・・・温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。

【お問い合わせ先】

A-ESG科学技術研究センター 客員教授 岡村 幸壽
TEL：082-424-7634
E-mail：okamuras@hiroshima-u.ac.jp